

1 取組・活動名

「ボランティアマインドの醸成」近隣小学校のお祭りの手伝い、小学生陸上大会の運営、夜間防災訓練の取組

2 取組・活動のねらい

- 他者を思いやり、主体的に奉仕しようとする生徒を育てる。
- 共に助け合い、支え合い、協力して課題解決に取り組もうとする生徒を育てる。
- 広い視野をもって、様々な価値観を認め、共生しようとする生徒を育てる。

3 教育課程上の位置付け

「学校行事・各2時間」

4 実施上の工夫

- ・ 生徒会が中心となり、ボランティアTシャツの作成に取り組ませる。全校生徒にTシャツのデザインを募集し、生徒会本部役員に選定させる。生徒会朝礼でデザインを発表し、完成したTシャツを提示することで、全校生徒に学校全体が一丸となってボランティア活動に参加する意識をもたせる。
- ・ 近隣小学校への夏祭りのお手伝いでは、卒業した小学校のお祭りであることから参加しやすく、友人を誘いながらボランティア参加者数を増やすことができる。友人同士でグループを作り、駐輪場の整理、ゴミの分別など裏側の仕事を率先して行わせる。
- ・ 小学生陸上教室や大会は陸上部を中心とした生徒に運営させる。小中学生間のコミュニケーションが深まるように、ウォーミングアップから表彰まで取り組ませる。
- ・ 夜間防災訓練では、小学生、地域の方、中学生スタッフでグループを構成し、中学生スタッフをグループリーダーとして運営にあたらせる。「受付」「避難誘導」「炊き出し」「グループワーク」に分かれて、避難拠点要員の手伝いをするすることで、人の役に立つことを学ばせる。

5 本取組・活動の内容



「近隣小学校のお祭りのお手伝い」

- ・ 近隣小学校の夏祭りのスタッフの一員として参加する。
- ・ 「釣り堀ゲームの準備」「ゲームの景品（ソースせんべい）の準備」「パンの販売」「駐輪場整備」「ゴミステーションでのゴミの分別」等の仕事をグループに分かれて行う。



「小学生陸上大会の運営」

- ・ 夏休みに、陸上部・生徒会役員が運営して「小学生陸上教室」「ドラゴンダッシュ選手権」(50m走の大会)を実施する。
- ・ 小学生陸上教室では陸上部を中心にグループを作り、中学生がコーチとなって、速く走るためのポイントを小学生の低学年から高学年まで、学年ごとに指導する。
- ・ 大会運営では、集合から表彰まで、必要な仕事を一人一役として分担している。



「夜間防災訓練の取組」

- ・ 学校で行われる地域連携夜間防災訓練に参加し、避難拠点要員の方々と協力をして、災害時に地域に貢献できる能力を養う。
- ・ 「受付」「避難誘導」「炊き出し」「グループワーク」に分かれて、避難拠点要員の手伝いをする。
- ・ 「グループワーク」では、近隣の小学生と地域の大人とグループを作り、段ボールや新聞紙を利用して、生活場所の確保とスリッパ作り、テーブル作りを行う。

6 成果

- ・ 近隣小学校のお祭りの手伝いでは、中学生として奉仕活動に取り組むことで、「卒業した小学校のお手伝いできた」「人の役に立つことができた」という達成感や自尊感情が生まれ、「もっとやりたい、貢献したい」というボランティア精神が高まった。また、小中連携活動にもつながり、工夫次第ではもっと活性化できると感じた。
- ・ 「小学生陸上教室」「ドラゴンダッシュ選手権」後には、「また、やりたい」「次の機会の時は活かしたい」という感想が多く出され、小学生の陸上大会の運営でボランティアマインドが醸成された。また、部活動の大会は審判や会場づくりなど、運営に関わる方の支援があるからこそ開催できることを、生徒達は知ることができた。
- ・ 夜間防災訓練の取組では災害時に中学生が働くことや小学生や地域の大人と協力することの大切さを体験し、自尊感情が高まった。また、小さい子供の世話をすることで、周りを意識した行動がとれ、判断力もついた。また、中学生の行動が地域の方から評価され、中学生がスタッフやリーダーとして運営に関わることについて自信をもつことにつながった。